

標準予防策について



- 1 標準予防策について
- 2 手指衛生 タイミング
- 3 手指衛生 手袋の着脱



標準予防策

スタンダードプリコーションって何？

すべての人は病原体を保有していると考え、患者および周囲の環境に接触する前後には手指衛生を行い、血液・体液・粘膜などに曝露する恐れのある時は個人防護具を用いることである。

感染症の有無にかかわらず**対象者すべてに対して**
感染対策を行うことです！！

感染経路を遮断すれば感染しません！

病原体

病原体の排除

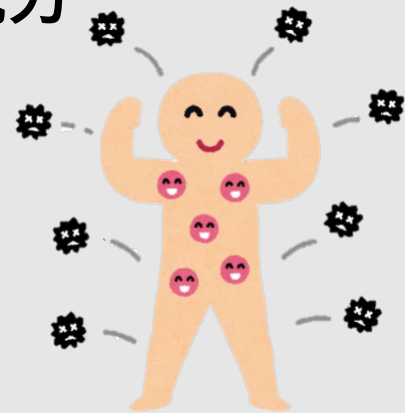


感染経路

感染経路
の
遮断

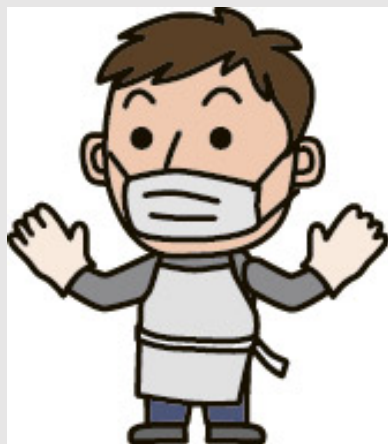
宿主
感受性

宿主抵抗力
の
向上



標準予防策 具体例

手洗いと手指消毒が
基本です！！



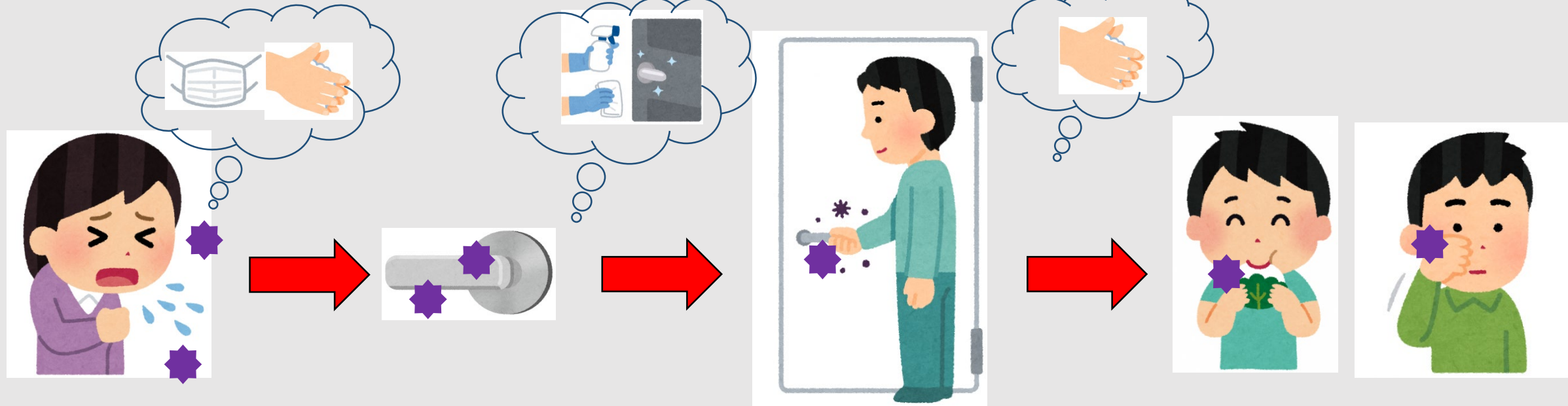
手洗い	手洗いは予防策の基本であり、通常普通の石けんを使って流水で洗う。感染症の流行時や感染性が強い場合などには消毒薬を用いる。 ・感染源となるものに接触した後 ・手袋を外した後 ・次の患者に接する前、次の処置を行う前
手袋	清潔な手袋を着用し、使用后や他の患者に接するときは手袋を外し、手洗いをする。 ・感染源となりうるものに触れる場合 ・患者の粘膜や傷のある皮膚に触れる場合
マスク、ゴーグル、ガウン等	体液等が飛び散ることが予想される場合は、目や鼻、口の粘膜を保護するためにマスクやゴーグルを、皮膚や着衣を汚染しないようにガウン等を着用する。汚れたガウン等はすぐに脱いで手を洗い、他の患者や環境を汚染しないようにする。
リネン類	汚染のあるリネン類や器具は、周囲のものを汚染しないように注意して取扱い、適切に処理する。病室、ベッド等頻繁に触れる箇所の洗浄、消毒は定期的に行い、適切に消毒するまで他の患者には使用しない。
器具	感染性があるもので汚染した器具等は、周囲のものを汚染しないように注意して取扱い、適切に処理する。

接触感染とは

感染者がくしゃみや咳を
手で押さえ、その手で
周りの物に触れるとウイル
スが付着する

周囲の人がそれを
触って、ウイルス
が手に付着する

その手で口や鼻を
触ることで粘膜から
感染する



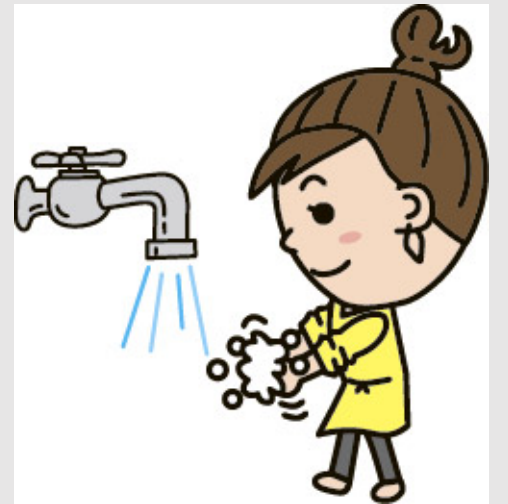
手洗い・手指消毒がどうしても大切ななの？

手はいろいろな所に直接接触れます

介護や保育の時も必ず対象者やその周囲に触れます

自分のことも当然触ります

**その手が汚染されていないことが、
利用者と介護をするあなたを守ります**



言葉のおさらい①

●病原体

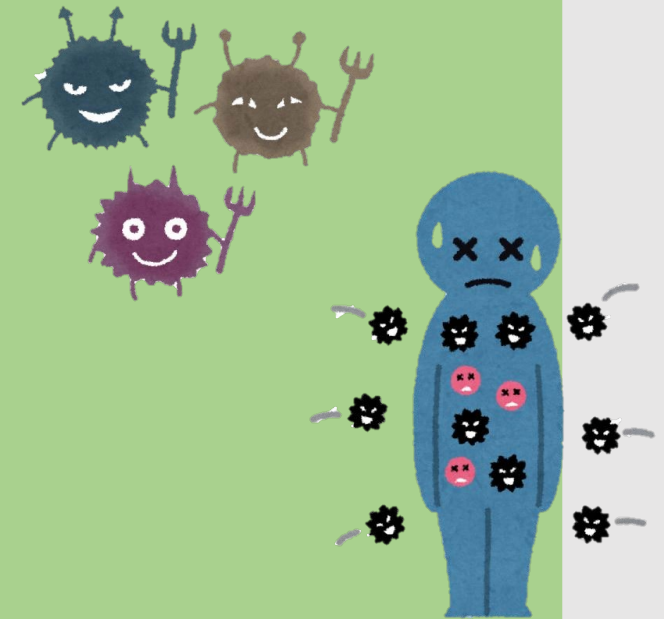
→ウイルス、細菌、微生物等感染症を引き起こすもの

●感染経路

→病原体が宿主に入り込む道すじ

●宿主

→病原体に寄生される生物等



言葉のおさらい②

●曝露

→病原体等に生体がさらされること

●清潔

→病原体等が付着していない部分

●汚染

→病原体等が付着している可能性がある部分



5つの手指衛生タイミング



WHO 「My 5 Moments for Hand Hygiene」 出典

①患者に触れる前

②清潔/無菌操作の前

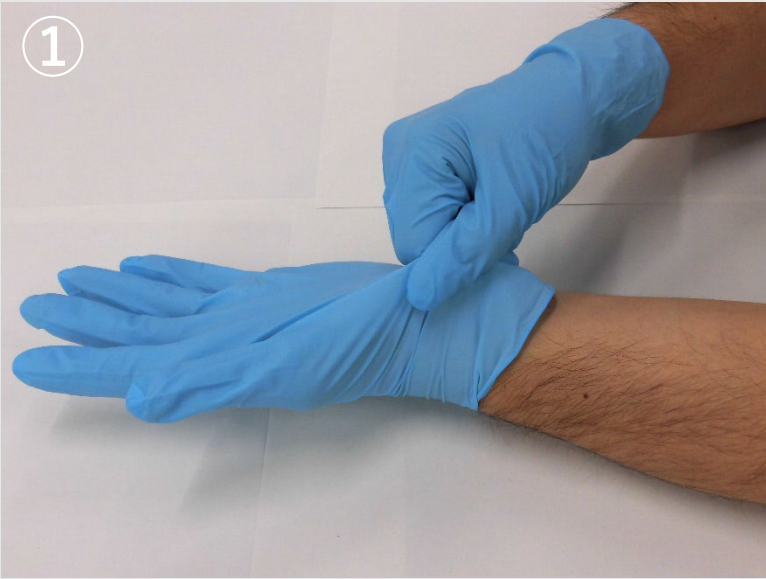
③体液に曝露された可能性のある場合

④患者に触れた後

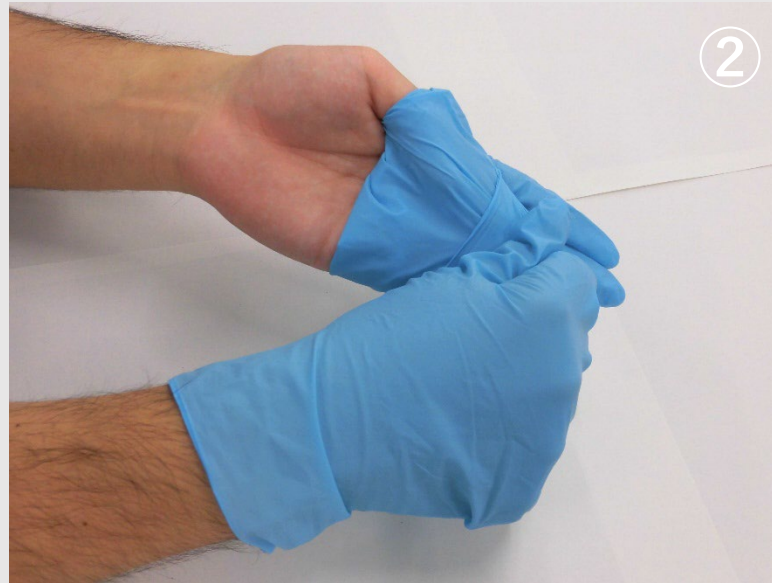
⑤患者周辺の商品に触れた後

手袋の外し方①

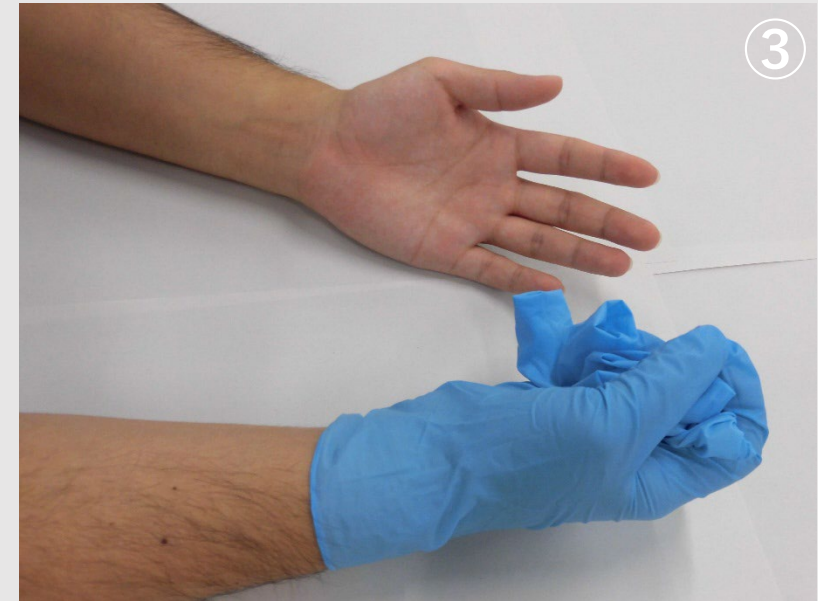
外側に手が
当たらないよう
気を付けよう！！



①手袋の外側をつまむ。

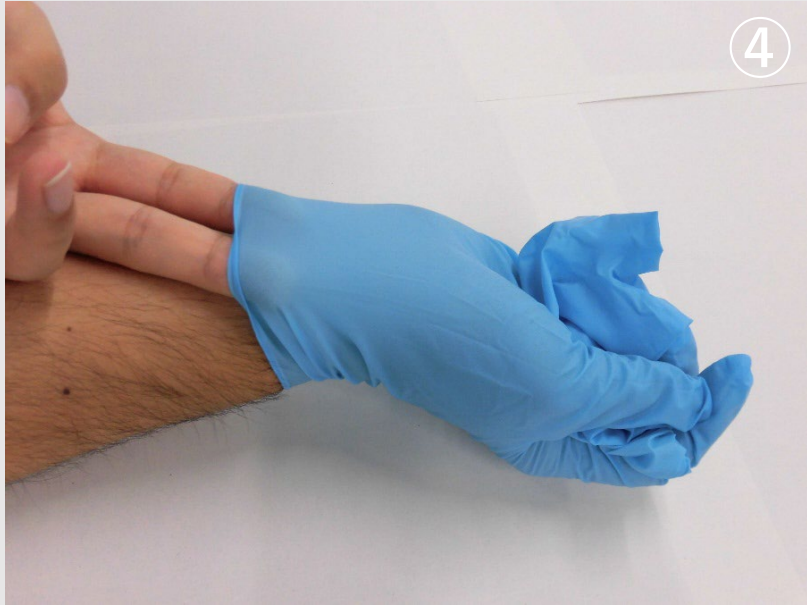


②手袋を中表にして外す



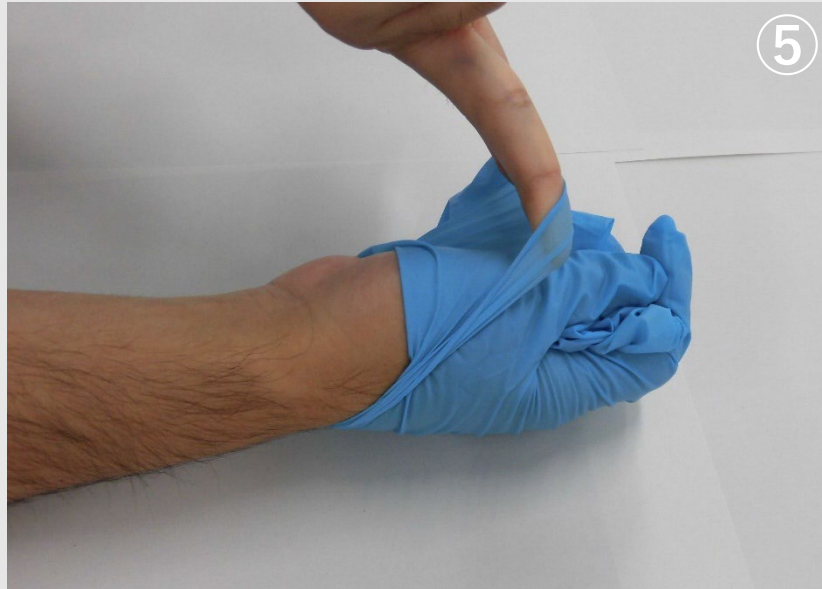
③まだ手袋を着用している
手で外した手袋を持っておく

手袋の外し方②



④

④手袋を脱いだ手の指先を、もう一方の手首と手袋の間に滑り込ませる。



⑤

⑤⑥そのまま引き上げるようにして脱ぐ



⑥

手袋の外し方③



⑦2枚の手袋をひとかたまりとなった状態でそのまま廃棄する。




⑧最後にしっかりと手指消毒！！




基本は汚染部位に触れない事です！！

 ガウンを脱ぐ時も基本は手袋と同じです。「中おもて」が基本です。

 マスクの外す時も表面に触れないでゴムを持って外します。

→清潔不潔を意識して脱ぐ事を習慣にしましょう！

- 
- ・資料を使って、みんなで手指衛生のタイミングと手袋の外し方を練習しましょう。
 - ・手指衛生が実践できているか、感染症担当職員や管理者は職場の見回りを定期的に実施しましょう。

担当：保土ヶ谷福祉保健センター
福祉保健課健康づくり係
TEL：045-334-6344

お気軽にお問い合わせください。